

こどものはったつ相談室



子どもたちの健やかな発達や実りある学習に繋がるよう、
通級指導教室「まなびの教室」^{なつめてつや}夏目徹也先生によるコラムを
連載しています。



問合先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

第12回テーマ「聞く・話す・ふれあう」

■どんな力？

「聞く・話す・ふれあう」は子どもの育ち、子育てでとても大切なことでありますし、大きな影響を与えます。

「聞く・話す」について考えてみましょう。子どもは、赤ちゃんの時は話すことはできませんが、周りの音や言葉はたくさん聞いています。その時、頭と心の中にいっぱい蓄えます。そして、成長とともに蓄えた言葉を発してきます。「聞く、蓄え、話す」を繰り返しながら育っていきます。

「ふれあうこと」について考えましょう。赤ちゃんは、保護者に抱かれることで安心感を持ち、愛情を感じます。成長とともに、体はふれあわなくても、一緒に場所や時間を過ごすことで安心感を持つようになります。「ふれあう」ということは、子どもの成長や家庭によって違いますが、子どもの心に安心感を持たせることができることだと思います。

うまく育っていないと

●言葉で伝えることが苦手になり、行動が落ち着かなくなったり、気持ちが不安定になったりする

うまく育つと

●自分の気持ちを周りに伝えることができるので、上手にコミュニケーションがとれて、安定した生活になる

■生活の中で育てる

家庭でたくさん話をしましょう

食事を一緒にする時に、テレビやスマホを消すと、何気ない会話が生まれることもあります。家族でトランプやボードゲームを行うと、何気ない会話で盛り上がることもあります。

絵本や本の読み聞かせをしましょう

子どもが安心感をもてる位置は横に座ることです。乳幼児期は、後ろから抱きかかえるような位置でもいいでしょう。人の話をしっかり聞く力を育てますので、いくつになってもたくさん読んであげましょう。

■通級指導教室の指導

通級指導教室では、まず子どもや保護者との信頼関係を築くことを大事にしています。

保護者の話を聞く

通級指導教室に送迎してくるので、指導の始めと終わりに短時間ですが、話をするようにしています。学校や家庭のことだけでなく、将来的なことや医療的なことも話される保護者もいらっしゃいます。その話を傾聴し、安心感をもっていただけるようにしています。



子どもの話を聞く

指導の始めに、話をしてもらうことにしています。学校や家庭のことで楽しかったこと、嫌だったことなど自由に話します。話を通して、言葉の広がりや表現を高めるとともに、安心感をもたせるようにしています。

